

設備情報調査票記入要領

平成 25 年 10 月
沖縄県知事公室防災危機管理課

別紙調査票記入例と照らし合わせてご覧ください。

記入にあたりましては、各施設の御担当者、燃料供給業者に確認されると効率的です。

<記入にあたっての注意点>

○フォーマットの様式

この調査票は、今後石油連盟との災害時協定等が締結された際に石油連盟のシステムに取り込まれる際のデータベースフォーマットとなっています。そのため調査票フォーマットのエクセルファイルは入力規則がかけられていて意図しない編集が制限されています。改変するとシステム登録ができなくなりますので、そのままの仕様でご記入して下さい。また Excel の行列の設定(幅・高さ)も変更しないで下さい。

○必須入力項目

※印がある項目(下記(1)~(5)の赤網掛け項目)は、システム登録上**必須入力**の項目となります。これ以外でもタンク情報等で燃料供給に関わる項目に記入漏れがあった場合、緊急対応に支障がありますので、記入をお願いします。

○ファイル名称の命名規則

調査票の記入が済みましたら、ファイル名の頭に「市町村名または県の部局名」を付し、アンダーバーの後に施設名を記載ください。(記載例：市町村名(県の部局名) _施設名)

○ファイルの拡張子

調査票フォーマットは拡張子「.xls」でお渡ししておりますのでそのままご使用下さい。Excel2007 以降のバージョンをご使用の場合、保存の際に「.xlsx」にしないでください。

○ファイルの提出

完成した調査票は電子媒体にてご提出下さい。

設備情報調査票（1／2）

(1) 登録状況/調査日

今回の調査では、「新規」を選択ください。「更新」及び「削除」については、今後の調査で変更のある場合に使用します。

調査日は「YYYY/MM/DD」形式(半角)で10桁の記入として下さい。

(2) 組織名称

本調査票の提出者の組織名称をご記入下さい。

(3) 施設番号

「記載不要」

県防災危機管理課で、8桁の番号を設定し記載します。

(4) 施設属性

当該施設の種別を選択して下さい。

[病院] …(国公立問わず) 病院

[警察] …警察署や県警本部など警察機関の施設

[消防] …消防署や消防本部など消防機関の施設

[官公庁] …県庁・市役所・中央官庁及びその地方機関などの行政機関の施設

[公益事業]…電気・ガス・通信・鉄道事業者など民間の重要インフラ事業者の施設

[自衛隊] …防衛省・自衛隊の施設

[その他] …上記のいずれにも当てはまらない施設

(5) 施設名など(施設基本情報)

施設名 … 施設の正式名称をご記入下さい。記入例の様に右欄にふりがなを振って下さい。

施設名は30文字以内で記入して下さい。(ふりがなは50文字以内)

所在地 … 記入例の様に郵便番号、都道府県、市区町村以下につきセルを分けて記入して下さい。

郵便番号は連続した7桁の数字で入力して下さい。自動書式で変換されます。

入力例)「1234567」⇒自動変換で「〒123-4567」と表示されます。

都道府県は5文字以内、市区町村以下は45文字以内で記入して下さい。

設置主体…当該施設の設立者の区別(国立、都道府県立、市区町村立、私立)を選択して下さい。

担当部署…災害時に窓口となる担当部署を記入して下さい。

担当部署は25文字以内で記入して下さい。

担当者名…災害時に窓口となる御担当者を主と副の2名記入して下さい。

担当者名は10文字以内で記入して下さい。(ふりがなは20文字以内)

※ 担当役職が決まっており、個人名より役職名の方が望ましい場合は役職名を記載して戴いても結構です。

電話番号…代表電話番号には施設の代表電話番号を記入して下さい。主担当・副担当電話番号は担当者直通的の電話番号を記入して下さい。個人直通的の番号が無い場合は部署直通的の番号を主担当電話番号欄に記入して下さい。

※ 調査票へは「市外局番」・「市内局番」・「局番」の形式で入力して下さい。

(6) 平時供給者

現在、当該施設に燃料の供給を行っている石油販売業者の名称、電話番号、属する系列石油元売会社名をご記入下さい。公的機関等で毎年供給者が変わる場合は現時点の情報を記入下さい。非常災害時、供給元売会社の決定の際に参考にさせていただきます。ご不明であれば、当該施設へ燃料の供給を行っている石油販売業者へご確認ください。

平時供給者名は 30 文字以内で記入して下さい。

(7) ローリーサイズ上限

荷卸の為に施設内の燃料タンク前の所定位置まで進入できるタンクローリーサイズの上限をご記入下さい。沖縄の主要石油運送業者が使用しているタンクローリーのサイズは小さいもので概ね 6kl 積から最大で 20kl 積までサイズが分かれています。白油(ガソリン・灯油・軽油)と黒油(A 重油)とジェット燃料油は輸送するタンクローリーが異なります。白油タンクと黒油タンクが離れた場所にある場合もありますのでそれぞれの進入可能サイズ(整数、小数点以下は切捨て)を記入して下さい。

【おおよそのサイズ】

積載量	全長	全高	全幅
6 kl	約6m	約3m	約 2.5m
10 kl	約7m	約3m	約 2.5m
14 kl	約9m	約3m	約 2.5m
16 kl	約 9.5m	約3m	約 2.5m
20kl	約12m	約3m	約 2.5m

※ 車両メーカーにより若干規格は異なります。

(8) 保有ホース

施設側でタンクローリーと給油口を接続するホースをお持ちであれば、白油用(ガソリン・灯油・軽油)、黒油用(A 重油)、ジェット燃料油用別に、総延長(整数、小数点以下は切捨て)と本数を記入して下さい。

※例えば 3m の黒油用ホースを 2 本保有しているとした場合、記入例の様に本数 2(本)、総延長 6(m)となります。

(9) 油種

タンクごとに記入して下さい。低硫黄 A 重油に限定する場合は「特 A 重油」を選択して下さい。硫黄分を問わない場合は「A 重油」を選択して下さい。

(10) タンク番号

当該タンクに固有の番号(もしくは名称)が振られている場合は 10 文字以内で記入して下さい。

(11) タンク容量(単位 : kl)

当該タンクのキャパシティ(消防許可容量)を記入して下さい。

※消防許可容量⇒実容量が 10kl であっても消防許可が 9.5kl の場合は 9.5 と記入して下さい。

(小数点第 1 位まで入力可能、小数点第 2 位以降は切捨て)

(12) 地下/地上

当該タンクが地下タンクか地上タンクかについて選択して下さい。燃料供給の際、地下タンクであればタンクローリーから重力による荷卸が可能です。地上に設置されておりタンク側にポンプ機能が無

い場合は、ポンプ機能の付いたタンクローリーが必要となります。

地下 : 地下に埋設されている場合

地上(ポンプ無) : タンクが地上に設置されており、タンク側にポンプ機能が無い場合

地上(ポンプ有) : タンクが地上に設置されており、タンク側にポンプ機能が有る場合

(13) 給油口配置

給油口の配置形式について、単独、集中、切替の別を選択して下さい。

単独 : 地下タンクと繋がっている地上給油口が一箇所ずつ離れたところに位置している場合

集中 : 複数の地下タンクの給油口がまとまって並んでいる場合

切替 : 複数の地下タンクに対し給油口が一個しかなく、切り替えスイッチにより各タンクに荷卸する場合

(14) 給油口ネジ名称・形式

給油口のネジ名称、ネジ形式の区別を記入して下さい。給油口の種類は大きく分けるとネジ込み式と接続が簡便なワンタッチ式がありますが、それぞれに多数の規格があり、規格に合うアタッチメントを持参しないとホースを接続して供給することができないため、これらの情報が必要となります。

(14-1)ネジ名称

ネジ込み式の場合、通称インチネジと M ネジ(メートル細目ネジ)という 2 種類があります。インチネジは名称が多岐に亘りますが、M ネジには金具に「M」の刻印があり、M ネジの名称は「M○○(○は数字)」と表されます(M ネジの派生で外径がやや小さい A ネジという規格もあり、その場合は「A○○(○は数字)」と表されます)。

【給油口ネジ名称】

ネジ込み式 (インチネジ)	ネジ込み式 (Mネジ)	ワンタッチ式	主な使用元売
JIS(PT・PF)	M64	旧モービル	
消防	M75	旧ゼネラル	
東急	M90	旧エッソ	
極東	M115	NM	旧日石
川西		NM-L	旧日石(大)・九石
タツノ		SI	出光(直)・全農
金剛		SI-301L	出光(L)
出光		T-80	昭和シェル・三井・旧 JOMO・キグナス
シェル		T-80L	コスモ(一部)
名古屋		T-100	旧三石、コスモ(主流)
共石		カムロック	
トキコ			

※ 上記表は主要な名称を列記したもので、全ての規格を網羅しているものではありません。

※ インチネジの JIS は「ガス山」、消防は「アラ山」という別称で呼ばれる場合があります。

※ JIS のうち、比較的新しいものは PT→「R」、PF→「G」と表記される場合があります。

※ ワンタッチ式では、その規格を主に利用している元売の名称が規格の別称となっている場合があります。例えば、正式名称は NM でも、主に旧日本石油で使用されていたため、「旧日石」と呼ばれることがあります。同じ元売でも複数のネジを使用している場合がありますので御注意下さい。

※ ネジの種類には、ネジ込み式・ワンタッチ式以外にも「フランジ式」等、全く別の規格がございます。しかし、石油タンクの給油口としては一般的ではなく、多品種であるため、詳細は記載しておりません。もし該当する場合は備考欄に詳細をご記入下さい。

(14-2)ネジ形式

ネジ形式については、ネジ込み式の場合は内ネジか外ネジかの区別を選択して下さい。ワンタッチ式の場合はワンタッチを選択して下さい。

※内ネジ…需要家タンク側メス ローリー側オス
外ネジ…需要家タンク側オス ローリー側メス

(15) 給油口口径(単位：インチ)

給油口の口径(サイズ)をご記入下さい。

(小数点第1位まで入力可能、小数点第2位以降は切捨て)

(16) 通常のローリーサイズ

確実に入ることが確認できているローリーサイズの把握のため、通常の給油時に使用されているローリーサイズ(整数、小数点以下は切捨て)を記入して下さい。

(17) 使用ホース長

給油時に必要となるホースの目安として、通常の給油時に使用されているホース長(整数、小数点以下は切捨て)を記入して下さい。

(18) 上記ホースの保有者

通常の給油時に使用されているホースが、施設側で保管されているものか、ローリーが積載しているものを使用しているか記入して下さい。

(19) 在庫メーター

タンクの在庫メーターの種類を記入して下さい。

※メーターの例…液面計・デジタルメーター・検尺棒 等

(20) 照明設備

給油口周囲に照明設備があれば夜間の荷役も可能となるため、照明設備の有無を記入して下さい。

(21) 備考

備考欄に以下の参考情報を記入して下さい。

- ① 構内の通行や供給に関する注意事項
- ② 過去に納入実績のある平時供給者情報

なお、改行は最大15行を目安とし、文字数は800文字以下として下さい。(印刷時に表示されない可能性があります)

(22) タンク配置図(構内図)

当該施設の燃料タンクの位置が判る構内図、及び入口～給油口～出口のルートを図示して下さい。

また、幅員等も実測値をご記入お願いします。図面が横長の場合は回転して貼り付けて戴いても結構です。エクセルファイルにて補足をご記入戴いた図面はお手数ですが表記ずれを防ぐ為に「グループ化」して一つの図となる様にして下さい。同一施設内で複数の燃料タンクが離れた位置にある場合は、図面を複数貼り付けて戴いても結構です。その際スペースが足りなければ、印刷ページの範囲を下に伸ばして2ページ目を作成して下さい(印刷範囲を変えて戴ければ、何ページ作成されても構いません)。

※グループ化…PCのCtrlキーを押しながら複数の図形をクリックして最後に右クリックしてメニューの中から「グループ化」を選択すると一つの図形となります。
(グループ化を解除して元に戻すこともできます)。

(23) 写真 (タンクローリー停車位置/燃料タンク/給油口等)

停車位置、燃料タンク、給油口等について写真データを貼付して下さい。枚数、サイズに制限は設けておりません。記入例の配置に捕われずに施設状況に応じて調整して下さい。写真が収まりきらない場合は「(22)タンク配置図」と同様にページを増やしてから貼り付けて下さい。

(24) 地図 (施設見取図)

当該施設周辺の地図、及びアクセスルート(一般道から入口迄の進入ルート)、必要に応じて注意点を図示して下さい。進入と退出でルートが変わる場合は両方記入して下さい。図面が横長の場合は回転して貼り付けて戴いても結構です。エクセルファイルにて補足をご記入戴いた図面はお手数ですが表記ずれを防ぐ為に「タンク配置図(構内図)」と同様に「グループ化」して一つの図となる様にして下さい。図面を複数貼り付けて戴いても結構です。その際スペースが足りなければ、「タンク配置図」と同様にページを増やしてから貼り付けて下さい。

(25) 設備情報調査票 (2/2)

- ① 油種別用途別連続運転可能時間
- ② 油種別タンク別購入年月・購入量及び現在在庫量
- ③ 自家用発電機の発電形態別(電気事業法に基づく非常用(停電時対応)、常用別)定格出力及び運転時燃料消費量
- ④ 油種別平時燃料消費量及び用途
- ⑤ 燃料の品質管理の実施状況(定期的な入れ替えや品質検査等)
- ⑥ 過去の発電機等のトラブルの有無と要因